

# でとうございます

## 2015. 年頭のあいさつ

あけましておめでとうございます。清々しい新年を町民皆様とお迎えますことを心よりお慶び申し上げます。

また日頃の行政へのご支援、ご協力に対し、深く感謝申し上げます。昨年は、町民皆様の力強いご支援とご協力をいただき、再度町長としての重責を担わさせていただくことになりました。

私は、2期目のスタートを切るにあたって「厳しい財政事情によりできなかつた事業を何としてでも今期で達成し、安心・安全に暮らすこと出来るまちづくり、賑わいのあるまちづくりに向けて、強い決意をもって誠心誠意努力する」ことをお誓いし、11項目にわたった基本方針を明らかにしました。

就任してからおよそ8カ月ではありますが、達成への歩みは、一歩一歩着実に進んできているものと考えております。

長年の課題であった本町地区の水道水の改善についても、三豊に送水ポンプ場が新設され、12月24日から軟水の水が供給されています。

昨年の8月の豪雨で74人が亡くなった広島市の土砂災害や57人の犠牲者を出した9月の御嶽山の噴火など、近年国内で大きな災害が多発しています。

洞爺湖町においても、災害に強いまちづくりの中で、昨年の10月には津波避難訓練の実施と東日本大震災で「釜石の奇跡」と呼ばれた防災教育を指導してきた片田敏孝群馬大学教授の講演会を行うなど、防災意識を高め、地域での防災機能をより強固なものへと進めてきています。

洞爺地区の再整備については、昨年の10月に、洞爺地区振興策検討委員会が提言書を町に提出しました。今後この提言に沿った形で、洞爺地区の整備を進めていきたいと考えています。

移住定住策についても、ここ数年、洞爺地区や洞爺湖温泉地区などでは、若い人が移り住んで起業し、そこに観光客が訪れるなど、相乗効果があらわれてきています。

アベノミクスの効果が、地方では、まだまだ実感できない厳しい状況ですが、町民皆さんの生活の中からの声を大切にし、子どもからお年寄りまで安心して安全に暮らせるまちづくりを進めていきますので、一層のご協力をお願いいたします。

本年が町民皆さんにとって、健やかで、豊かな一年となりますよう心からご祈念し、年頭のご挨拶いたします。



洞爺湖町長

真屋敏春